
東海発電所・東海第二発電所
総合訓練説明資料(5週間前確認事項)

2020年1月7日

日本原子力発電株式会社

目次

- 全般① : 訓練計画
- 全般② : 事業者とERCの訓練コントローラ間の調整
- 指標 1 : 情報共有のための情報フロー
- 指標 2 : ERCプラント班との情報共有
- 指標 3 : 情報共有のためのツール等の活用
- 指標 4 : 確実な通報・連絡の実施
- 指標 5 : 前回訓練の訓練課題を踏まえた訓練実施計画等の策定
- 指標 6 : シナリオの多様化・難度
- 指標 7 : 現場実働訓練の実施
- 指標 8 : 広報活動
- 指標 9 : 後方支援活動
- 指標 10 : 訓練への視察など
- 備考① : 訓練参加率
- 備考② : 中期計画の見直し
- 備考③ : シナリオ非提示型訓練の実施状況

全般①: 訓練計画

1. 原子力防災訓練中期計画上の今年度訓練の位置付け

- (1) 想像しうる事態に対して冷静に判断をし、最善の対応を行う。
- ① 廃止措置作業を想定した緊急時対応ができること。【東海発電所】
 - ② 新規制基準有効性評価の対応ができること。【東海第二発電所】

2. 今年度訓練の目的・達成目標

(1) 訓練目的・達成目標

東海発電所及び東海第二発電所の同時発災を想定した訓練を実施し、以下の項目が実施できることを確認する。

- ① 廃止措置中に起こり得る放射性物質の漏えい事象等に対応する為、解体工事にて想定される事態の収束に向けた対応ができること
- ② 原子炉起動時に起こり得る事態に対応する為、新規制基準有効性評価を活用した適切な対応により、事態の収束に向けた対応ができること
- ③ 原子力施設事態即応センター班（以下、即応センター班という）から規制庁ERCへプラントの初期状況等の情報提供ができること
- ④ 発電所本部要員及び本店本部要員が、各人の役割に応じた事態への対応ができること
- ⑤ 選定された後方支援拠点において、特定の指揮者のもとで、拠点の設営及び初動活動（本店本部との連携）ができること
- ⑥ これまでの訓練から改善を図った事項の有効性確認する

全般①: 訓練計画

3. 主な検証項目

(1) 今年度訓練の達成目標に対する検証項目

① 放射性物質の漏えい事象等発生時、漏えい箇所及びその原因を特定するとともに、応急措置を決定しその対応を行っていること。

【訓練目的・達成目標①】

② 事象発生後のプラント状況を把握し、新規規制基準有効性評価等を用いた事象進展を予測するとともに、事態収束に向けた対応がとれていること。

【訓練目的・達成目標②】

③ 事象発生直後のチェックシート、COP（設備状況シート、系統概略図及び戦略シート）を活用し、発電所の状況をERCプラント班に迅速かつ正確に情報提供が出来ていること。

【訓練目的・達成目標③④】

④ 発電所本部要員及び本店本部要員が、各人の役割に応じた事態への対応が出来ていること。

【訓練目的・達成目標④】

⑤ 選定された後方支援拠点において、特定の指揮者のもとで、拠点の設営及び初動活動（本店本部との情報共有）ができていること

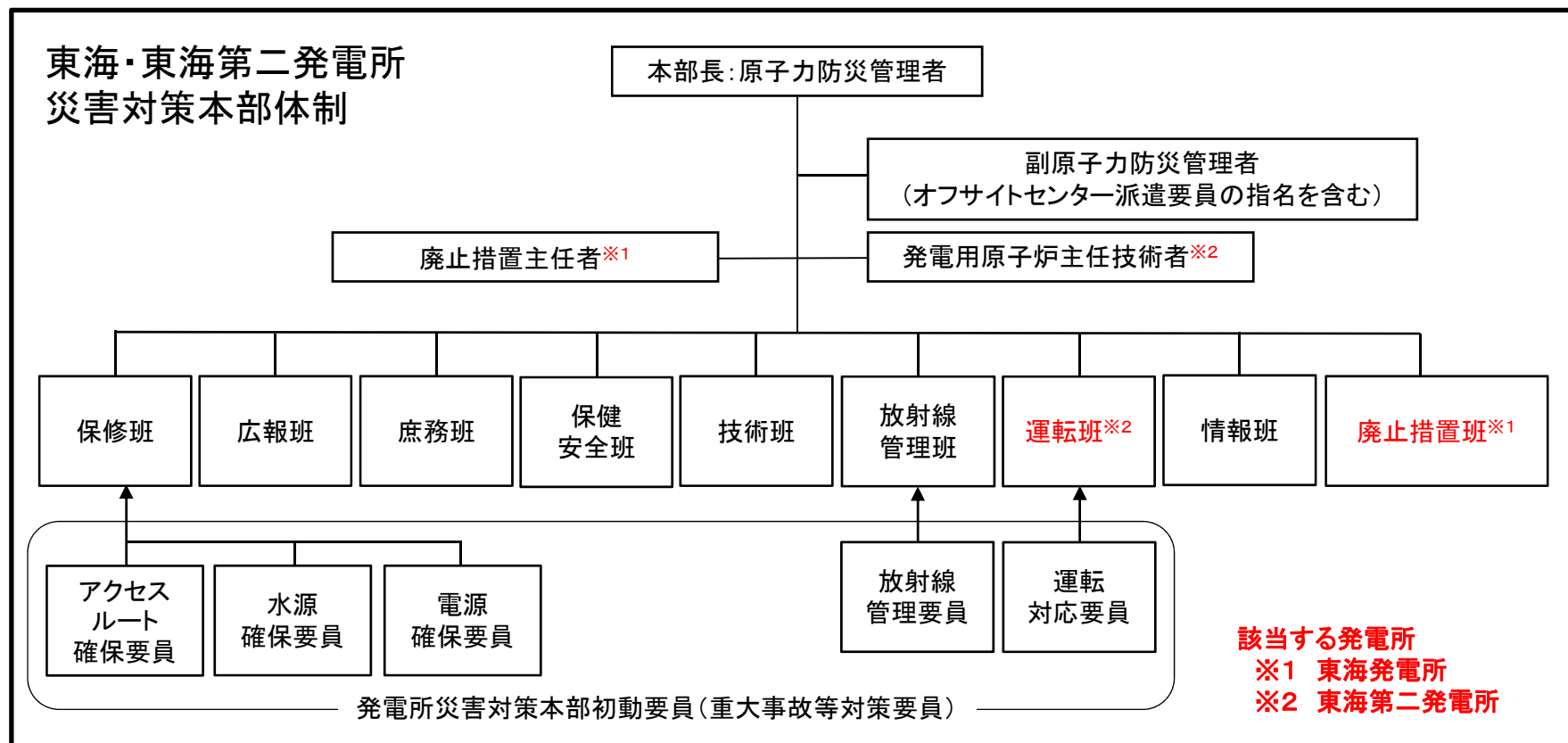
【訓練目的・達成目標⑤】

⑥ 前年度総合防災訓練及び敦賀発電所総合防災訓練における改善事項を反映し活動ができること。（P36～P38参照）

【訓練目的・達成目標⑥】

全般①: 訓練計画

4. 実施・評価体制 (1 / 5)



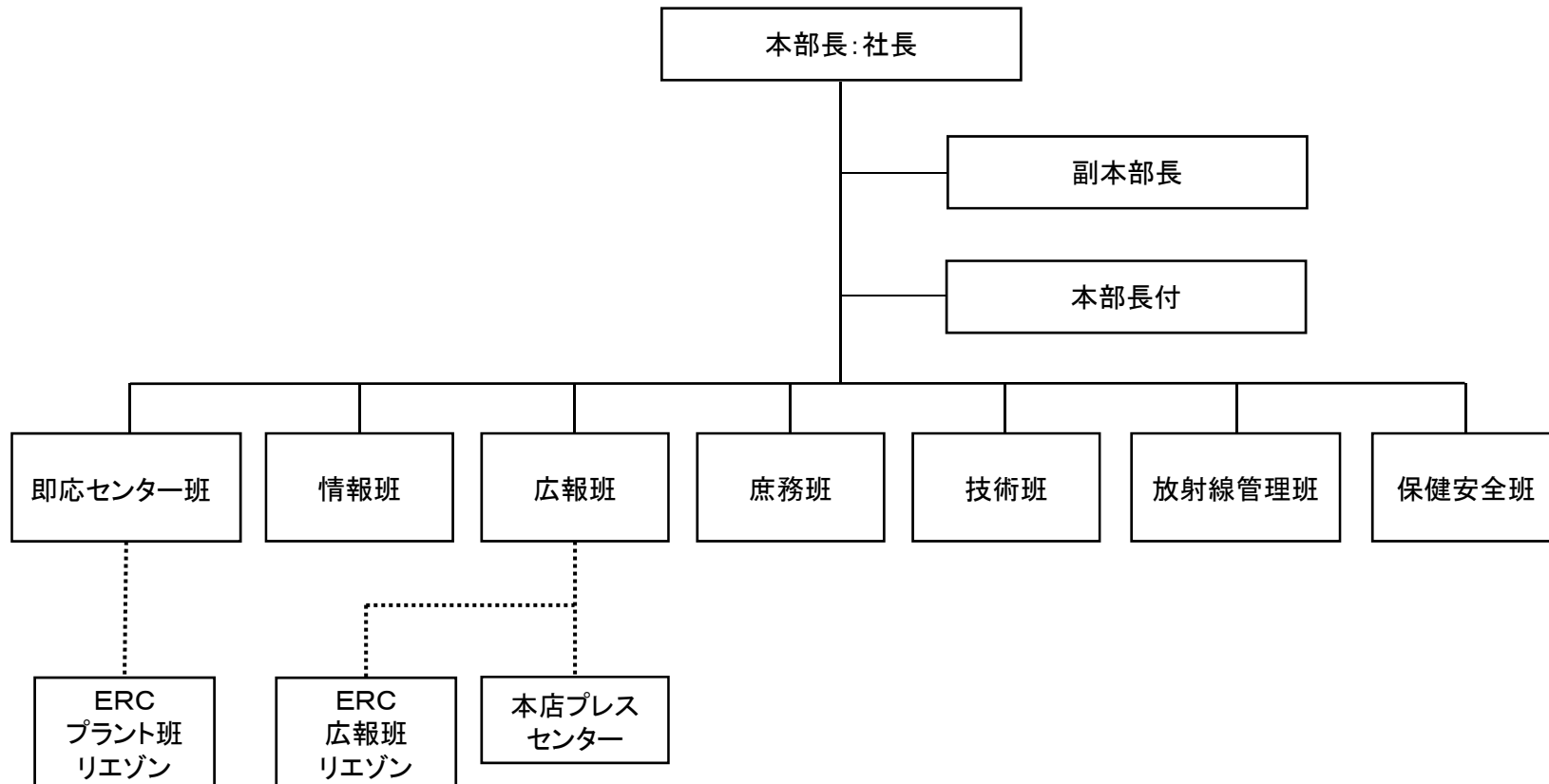
当社知的財産につき、マスキング実施

全般①: 訓練計画

4. 実施・評価体制 (3 / 5)

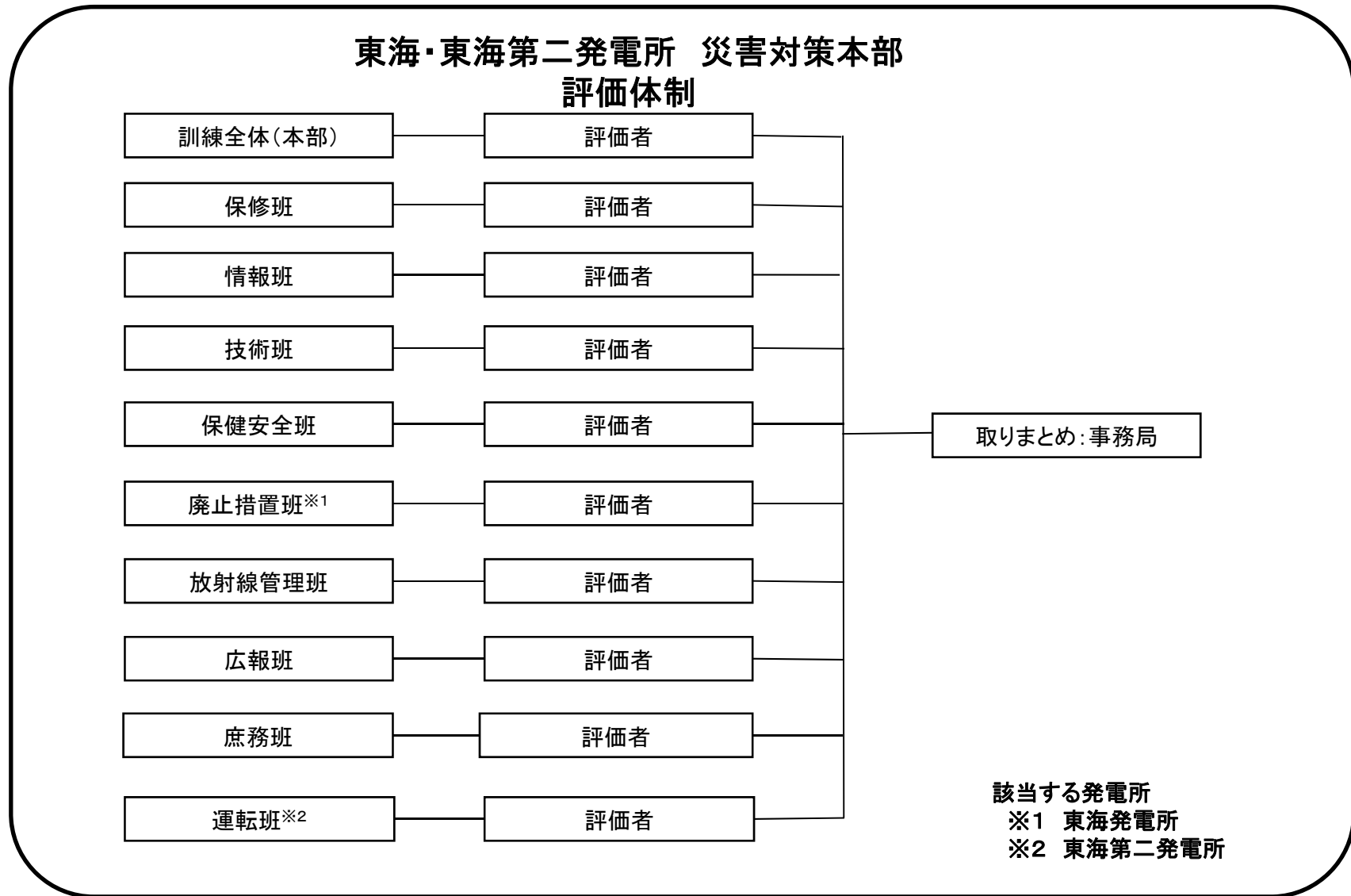
本店総合対策本部体制

【凡例】 実線: 本店総合対策本部内での連携を示す。
破線: 本店総合対策本部外に配置された本部要員との連携を示す。



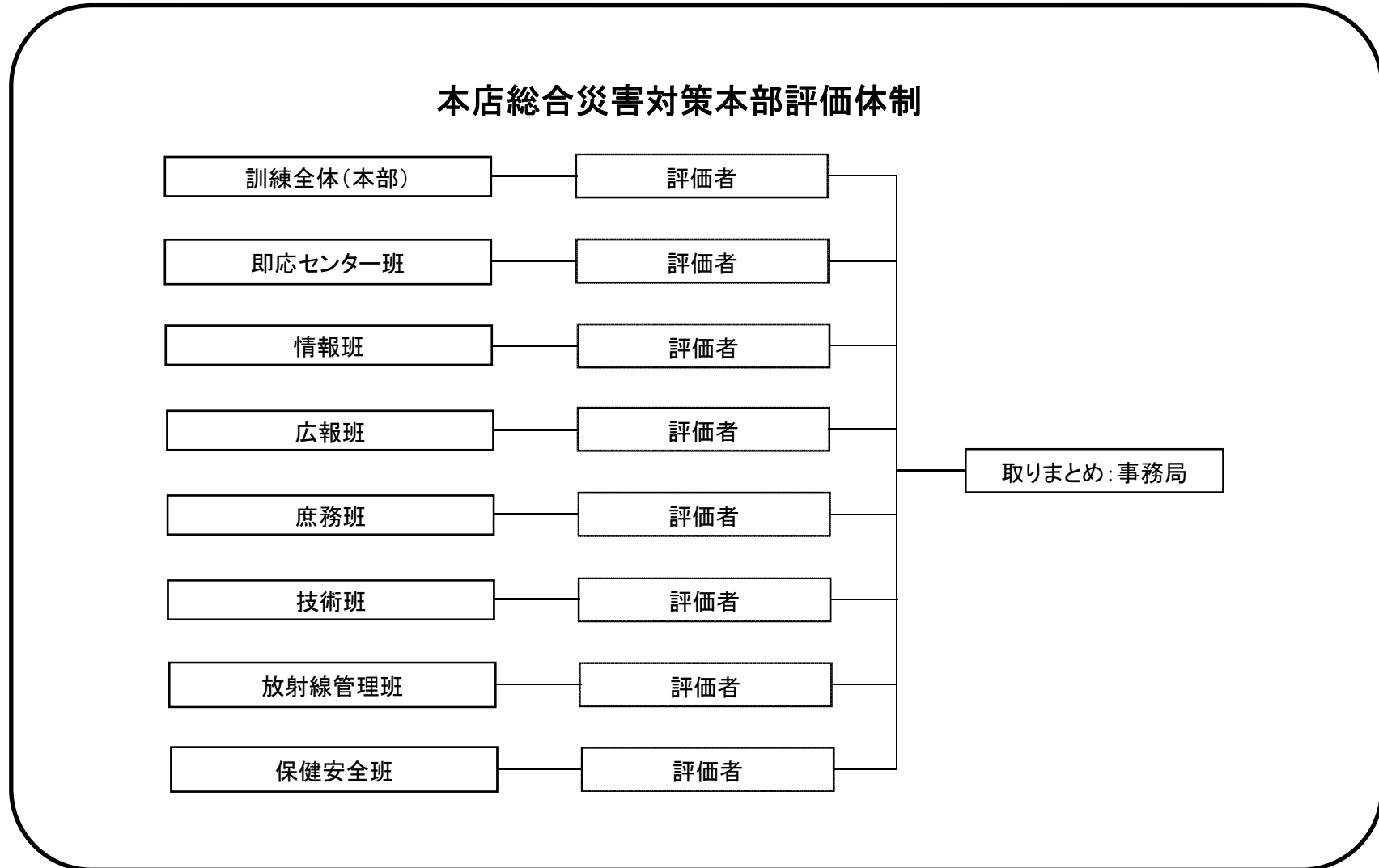
全般①: 訓練計画

4. 実施・評価体制 (4 / 5)



全般①: 訓練計画

4. 実施・評価体制 (5 / 5)



訓練シナリオにつき、マスキング実施

訓練シナリオにつき、マスクング実施

訓練シナリオにつき、マスクング実施

訓練シナリオにつき、マスキング実施

訓練シナリオにつき、マスクング実施

全般①:訓練計画

6. 訓練シナリオ

(1) 訓練実施予定日時と訓練スケジュール

2020年2月14日(金)

訓練 13:30~16:00(予定)

訓練振り返り 16:00~16:30(予定)

(2) 想定条件

- ・ 平日昼間における東海発電所及び東海第二発電所の同時発災
- ・ 東海発電所：廃止措置中，東海第二発電所：定格熱出力一定運転中

(3) 主要シナリオ

東海発電所及び東海第二発電所において警戒事象（AL），施設敷地緊急事態（SE），全面緊急事態事象（GE）に至る原子力災害を想定する。

(4) 新規制基準適合後のプラント状態を踏まえた実施方針

- ① シナリオ非提示（コントローラ及びフルスコープシミュレータデータにより情報付与）
- ② 現場実働なし

全般①:訓練計画

7. その他

(1) ERSS／SPDS使用

ERSS／SPDSは使用せず，ERSS／SPDSの代わりにフルスコープシミュレータデータを使用して訓練を実施する。

(2) COP様式

添付資料3参照

(3) 本店災害対策本部，即応センター及び発電所災害対策本部レイアウト

添付資料4参照

(4) ERC対応ブース配席図及び役割分担

添付資料5参照

7. その他

(5) ERC書架内の資料整備状況(資料一覧)

- ① 原子炉設置(変更)許可申請書
- ② 施設配置図
- ③ 東海第二発電所系統図
- ④ 東海第二発電所プラント関連プロセス及び放射線計測配置図
- ⑤ 東海第二発電所原子炉安全保護系ロジック一覧表
- ⑥ 東海発電所・東海第二発電所 原子力災害時の対応資料集

訓練シナリオにつき、マスキング実施

訓練シナリオにつき、マスキング実施

全般②:事業者とERCの訓練コントローラ間の調整

訓練シナリオにつき、マスキング実施

当社知的財産につき、マスキング実施

当社知的財産につき、マスキング実施

当社知的財産につき、マスキング実施

当社知的財産につき、マスキング実施

当社知的財産につき、マスキング実施

当社知的財産につき、マスキング実施

当社知的財産につき、マスキング実施

当社知的財産につき、マスキング実施

指標1:情報共有のための情報フロー（ERCプラント班からの質問への回答）

当社知的財産につき、マスキング実施

指標 2 : E R C プラント班との情報共有

当社知的財産につき、マスキング実施

指標 3 : 情報共有のためのツール等の活用

当社知的財産につき、マスキング実施

指標3：情報共有のためのツール等の活用

当社知的財産につき、マスキング実施

指標3：情報共有のためのツール等の活用

当社知的財産につき、マスキング実施

指標 4 : 確実な通報・連絡の実施

当社知的財産につき、マスキング実施

指標 4 : 確実な通報・連絡の実施

当社知的財産につき、マスキング実施

指標 4 : 確実な通報・連絡の実施

当社知的財産につき、マスキング実施

当社知的財産につき、マスキング実施

指標 5 : 前回訓練の訓練課題を踏まえた訓練実施計画等の策定 (2 / 3)

当社知的財産につき、マスキング実施

当社知的財産につき、マスキング実施

指標6:シナリオの多様化・難度

訓練シナリオにつき、マスキング実施

訓練シナリオにつき、マスクング実施

指標7:現場実働訓練の実施

1. 現場実働訓練の実施内容

- ・ 今年度の総合訓練で現場実働訓練は実施しない。
- ・ 現場実働訓練は, II型訓練(水源確保訓練)にて実施する方針である。
(令和2年3月13日に実施予定)

訓練シナリオにつき、マスクング実施

訓練シナリオにつき、マスキング実施

指標10:訓練への視察など (1/2)

1. 他原子力事業者の防災訓練及び現場実働訓練への視察

(1) 防災訓練

今年度実績 9回 (総合防災訓練, I型訓練, 国訓練)

- ① 9月・・・4日
- ② 10月・・・18日
- ③ 11月・・・1日, 8～10日, 18日, 22日, 29日
- ④ 12月・・・6日, 13日

今後, 1回の視察を計画する。

(2) 現場実働訓練

今年度実績 4回 (II型訓練, 成立性確認訓練)

- ① 9月・・・5日
- ② 10月・・・9～10日, 31日
- ③ 11月・・・6日

今後, 1回の視察を計画する。

指標10:訓練への視察など (2/2)

2. 自社訓練の視察受入れ計画

(1) 視察受入れ可能人数

例年同様、各社1名程度※の視察受入を予定している。(今後視察案内を発信)

- ・ 東海発電所・東海第二発電所受入可能人数：10名
- ・ 本店即応センター受入可能人数：3名

(2) 募集について

募集開始日：1月上旬予定、募集締切日：1月24日(金)予定

募集担当者(氏名、連絡先)

本店即応センター 氏名：梅田 貴洋 連絡先：090-6729-7533

東海・東海第二発電所 氏名：印南 一夫 連絡先：029-306-4782

※：東海発電所及び東海第二発電所及び本店即応センターについては、本部スペースの狭隘さによる訓練遂行への影響の観点から、多くの方のご視察が予定された場合は、調整を依頼することがある。

(3) ピアレビュー等の受入れ

他原子力事業者を外部評価者として受入れ予定

備考①:訓練参加率

1. 発電所参加人数 : 110人予定 (コントローラ15人予定)
2. 原子力施設事態即応センター参加人数 : 80人予定 (コントローラ1人予定)
3. リエゾン人数 : 6人予定
4. 評価者人数 : 発電所12人予定, 本店 9人予定

当社知的財産につき、マスキング実施

当社知的財産につき、マスキング実施

当社知的財産につき、マスキング実施

当社知的財産につき、マスキング実施

当社知的財産につき、マスキング実施

当社知的財産につき、マスキング実施

当社知的財産につき、マスキング実施

備考③:シナリオ非提示型訓練の実施状況

1. 開示する範囲, 内容

- (1) 訓練を実働することを開示する。
- (2) 原子力緊急事態支援組織と訓練を実施することを開示する。
- (3) オフサイトセンターへの派遣を実働することを開示する。
- (4) 後方支援拠点との連動（模擬）について開示する。
- (5) 訓練初期状況・条件について、プレイヤーに事前開示する。
- (6) ERSS／SPDSの代用として、フルスコープシミュレータデータを用いることを開示する。

当社知的財産につき、マスキング実施

当社知的財産につき、マスキング実施

当社知的財産につき、マスキング実施

当社知的財産につき、マスキング実施

当社知的財産につき、マスキング実施

当社知的財産につき、マスキング実施

添付資料3: COP様式(東海第二発電所 プラント状況図)

当社知的財産につき、マスキング実施

当社知的財産につき、マスキング実施

当社知的財産につき、マスキング実施

当社知的財産につき, マスキング実施

当社知的財産につき, マスキング実施

当社知的財産につき、マスキング実施

当社知的財産につき、マスキング実施